



# 理科共通コロキウム

日時： 7月22日（火） 17:00より

場所： 愛知教育大学自然科学棟4階401号室

本学理科教育講座では、学内外の自然科学者による講演及び全体討論会「理科共通コロキウム」(<http://sites.google.com/site/auescicolo>)を実施しております。学内の教員や学生、並びに学外の研究者や教員の方々に開放していますので、是非ご参加ください。

講師： 篠原 恭介氏  
大阪大学 生命機能研究科

題目： マウス胚の体の左右を決めるノード繊毛運動

概要： 私達ヒトをはじめとする脊椎動物は体の臓器の形態や配置が左右非対称となっています。ヒトに最も近いモデル生物マウスの胚では受精後8日目から左右対称な形から左右非対称な形に変化していきます。この時期マウス胚の中央にノードと呼ばれる細胞群が現れます。ノード細胞は1つの細胞につき1本の繊毛とよばれる微小管からなる構造を持っていて時計回りに回転運動し水の流れを発生させます。現在までにこの水の流れが最初は体の左右で対称である遺伝子発現を非対称に変化させる事で体の左右非対称性を作ると考えられています。本発表ではマウス胚ノードの繊毛運動がどのような特徴を持っているかについてお話ししたいと思います。

世話人 理科教育講座 宮川貴彦, 島田知彦, 常木静河, 幅良統, 上野裕則

<<問い合わせ先>> 上野裕則 [hueno@aecc.aichi-edu.ac.jp](mailto:hueno@aecc.aichi-edu.ac.jp)